

守谷市議会議員

完全
無所属

2歳の娘の母

かじおか 香織

民間企業17年の経験と
女性管理職の実績を活かし、
安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、
流れを変えるとき！

私も応援
しています！いとう眼科(守谷駅前)
大原 睦子 院長

「高齢者がいきいきと暮らせるまち」へ

【高齢者施策の現状】

守谷市は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度の3年間を計画期間とする「第9期守谷市高齢者福祉計画」を策定・実施しています。この計画では、「住み慣れた地域で健やかに暮らし、安心と幸せを感じられる守谷」をスローガンとしており、高齢者が元気で自立した生活ができるための支援では、「高齢者がいくつになっても自立した生活を継続していくためには、介護予防・フレイル予防活動に取り組むことが大切であり、運動教室や専門職による講座、サロン活動をはじめ、SNS等の媒体や広報の活用により、運動の方法を周知することで自宅や公園等で手軽に運動ができるよう、住み慣れた地域で多様な介護予防活動に取り組む環境づくり」に努めています。

具体的には、シニアクラブ活動、サロン活動、シルバーリハビリ体操などが行われていますが、さまざまな課題があり、高齢者が元気で自立した生活ができるための支援ができているとは言えない状況です。

①活動に参加している人の割合が少ない

令和4(2022)年11月末時点で65歳以上の守谷市民(14,911人)へのアンケートによると、交流機会は「コロナ前と比較して、現在は頻度が減少した(もしくは、行かなくなった)」の割合が36.8%と最も高くなっており、交流機会が減少していることがわかります。

交流の機会を提供するための活動にはシニアクラブ活動、サロン活動、シルバーリハビリ体操などがありますが、シニアクラブ活動に参加している方は4.9%、サロン活動に参加している方は4.8%、シルバーリハビリ体操に参加している方は6.2%と少ない状況です。

区分	回答者数(件)	「参加している」	再掲					参加していない	無回答
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
① ボランティアのグループ	9,802	14.4	0.8	1.6	1.8	5.0	5.2	70.9	14.8
② スポーツ関係のグループやクラブ	9,802	27.6	4.8	9.2	5.5	5.1	3.0	59.1	13.4
③ 趣味関係のグループ	9,802	31.1	1.6	4.9	5.7	13.1	5.8	56.1	12.9
④ 学習・教養サークル	9,802	8.2	0.3	0.7	1.3	3.6	2.3	74.9	16.9
⑤ シルバーリハビリ体操(ぱたか)	9,802	6.2	0.5	1.1	2.1	1.7	0.8	78.2	15.5
⑥ サロン	9,802	4.8	0.2	0.5	1.2	1.8	1.1	78.3	17.0
⑦ シニアクラブ(老人クラブ)	9,802	4.9	0.1	0.8	0.8	1.2	2.0	78.9	16.2
⑧ 町内会・自治会	9,802	31.0	0.3	0.3	0.6	4.3	25.5	54.5	14.5
⑨ 収入のある仕事	9,802	25.6	13.5	7.3	1.2	1.7	1.9	60.0	14.4



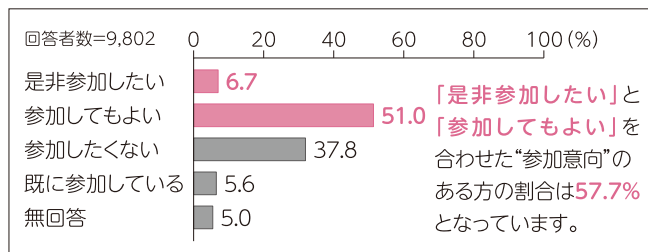
かじおか香織のマニフェスト

第4弾

高齢者がいきいきと暮らせるまちを目指します

②地域活動に参加したい人は多く存在する

令和4（2022）年11月末時点で65歳以上の守谷市民（14,911人）へのアンケートによると、地域活動の参加意向について、「是非参加したい（6.7%）」と「参加してもよい（51.0%）」を合わせた“参加意向”のある方の割合は57.7%となっており、シニアクラブ活動、サロン活動、シルバーリハビリ体操などに参加したいと考える方の潜在的な需要はあると考えられます。



③生活機能の低下のリスク、閉じこもり傾向は年齢が上がるにつれて割合が増加する

令和4（2022）年11月末時点で65歳以上の守谷市民（14,911人）へのアンケートによると、生活機能の低下のリスクとして運動器の機能低下があり、運動器の機能低下該当者は、男女ともに75歳以上で増加しており、特に女性で該当者の割合が高くなっています。また、閉じこもり傾向は、男女ともに、年齢が上がるにつれ割合が増加し、特に85歳以上で該当者の割合が高くなっています。

④課題認識

守谷市の行政評価ではサロン活動の課題について、「①小規模サロンにおける参加者の固定化、減少、②運営ボランティアの高齢化、後継者の不在」と認識しており、4箇所のサロンはコロナ禍の活動休止期間から再開することなく休止となっています。

【このような状況が続けば】

高齢者がいくつになっても自立した生活を継続していくためには、介護予防・フレイル予防活動に取り組むことが大切ですが、シニアクラブ活動に参加している方は4.9%、サロン活動に参加している方は4.8%、シルバーリハビリ体操に参加している方は6.2%という状況では、市民全体の介護予防・フレイル予防活動が充実しているとはいえない状況です。

介護予防・フレイル予防活動に取り組む機会が少ないと、生活機能の低下のリスクが高くなる上、閉じこもり傾向が強くなり、元気で自立した生活が送れなくなる可能性があります。

【私が実現したいこと】

①元気に日常を過ごせるようにします。

高齢者が元気で自立した生活するためには、介護予防・フレイル予防活動に積極的に取り組んでいきます。

②地域での新しいつながりができるようにします。

現状、どのような課題があるのかを参加者から直接伺い、「地域のコミュニティづくり」という観点からシニアクラブ活動、サロン活動、シルバーリハビリ体操、公園での早朝からのラジオ体操などの活動の検討及び推進を図ります。

③行きたい時にいけるように地域の足を強化します。

DXを通じ、デマンド乗合交通の改善を図ります。予約の仕方の簡便化、運転台数の拡充などを図ります。免許を返納される方には、二輪車・三輪車購入補助などを行い、どのような状態であっても「足」を確保します。そして、モコバス（もりやコミュニティバス）の70歳以上の無料化などを進めます。

●今後のスケジュール

9月10日 14:00頃～ 一般質問登壇

傍聴に是非お越しください！

○各地域の対話集会

月 日	会 場	時 間
10月 6 日	郷州公民館	10:00～11:30
10月12日	中央公民館	
10月26日	高野公民館	

Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- ひかり幼稚園（守谷市本町）卒園
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

守谷市に女性市長を誕生させる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL：0297-38-5593
FAX：050-3145-2882
E-mail：office@kaori-moriya.com
Web：https://kaori-moriya.com

かじおか香織に共感してくださる方、ご支援してくださる方を募集しております。
詳しくは下記のお電話・LINE・HPよりお問合せください。



QRコードから各種SNSにアクセスできます。



討議資料

